

せん妄治療におけるベルソムラ(スポレキサント)の効果と安全性に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年2月27日～2021年1月31日

〔研究課題〕

スポレキサントを使用したせん妄治療の効果

〔研究目的〕

せん妄は身体疾患や薬剤によって生じる急性一過性の脳機能不全症であり、軽度から中等度の意識障害に様々な精神症状を伴った病像を呈します。そのため、身体疾患の検査、治療、そして看護を難しくさせることがあり、速やかな対応が必要となります。現在、せん妄の治療では非定型抗精神病薬が広く用いられていますが、本研究ではより副作用の少ない、新規睡眠薬であるスポレキサント(ベルソムラ)の効果と安全性について検討します。

〔研究意義〕

現状よりも、安全かつ速やかにせん妄状態を改善させることは、患者様の利益につながります。

〔対象・研究方法〕

2017年4月から2019年3月までの間に、当院入院中に当科に診察依頼(コンサルテーション・リエゾン精神科診療)がなされ、スポレキサント(ベルソムラ)が投与されていた患者様を対象に年齢、性別、身体科診断、効果、副作用などについて調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科(精神神経科学講座)

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の取り扱いについては、使用するデータを匿名化し、統計的に処理するため個人が特定できることはありません。また、データの保管や廃棄も含めて、研究の全ては本学の倫理委員会の審査を得て行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：精神神経科学講座 病院准教授 赤羽晃寿

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 33710]